

SL-11,12 Type Safety Valve (Lift Type)

SL-11,12型 安全弁(揚程式)

製品記号 SL11-C□(レバー付)  
SL12-C□(レバー無)

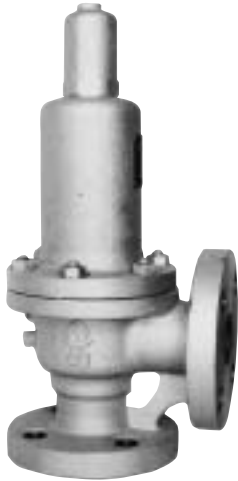
※□内には圧力区分の記号が入ります。

SCPH製 3.0MPa・フランジ形

圧力容器 蒸気ボイラ など

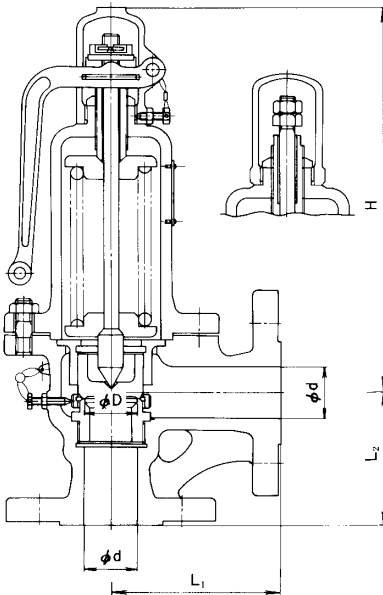


SL-11型



SL-12型

■構造図



呼び径により構造が多少異なります。

■仕様

型式	SL-11型	SL-12型
製品記号	SL11-C□	SL12-C□
	※□内には圧力区分の記号が入ります。	
キャップ形式	レバー付	レバー無
適用流体	蒸気・空気	蒸気・空気・気体・液体
呼び径	15~150	
流体温度	-5~250℃	
設定圧力範囲	呼び径25以下：0.035~3.0MPa 呼び径40~100：2.0~3.0MPa <sup>注1</sup> 呼び径125以上：0.035~3.0MPa	
端接続	JIS 10、16、20、30K RFフランジ <sup>注2</sup>	
材質	本体(SCPH) <sup>注3</sup> 、弁体・弁座(SUSまたはSCS) 弁体・弁座ステライト溶着	
本体耐圧試験	水圧にてフランジ呼び圧力の2倍	
取付姿勢	垂直取付	

注1. 呼び径40~100の設定圧力2.0MPa以下も製作しています。

注2. フランジ規格ASME(ANSI)クラス150、300も製作しています。(但し、ASME(ANSI)クラス150は呼び径15を除く。)

注3. 本体SCS製も製作しています。(但し、適用圧力は呼び径により異なります。)

■寸法表

(mm)

呼び径 d	弁座口の径 D	有効面積 (mm <sup>2</sup> ) $\pi D \ell$	リフト $\ell$	面間寸法		高さH		質量(kg)	
				L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	SL-11型	SL-12型	SL-11型	SL-12型
15	15	18.8	0.4	85	80	195	197	6.6	6.4
20	20	31.4	0.5	90	90	199	201	8.2	8
25	25	54.9	0.7	95	100	251	253	12	11
40	40	125.6	1.0	130	105	304	303	22	21
50	50	204.1	1.3	135	110	368	364	31	29
65	65	346.9	1.7	155	135	431	427	48	47
75※	75	447.4	1.9	170	140	474	470	70	69
100	100	785.0	2.5	210	165	670	664	139	137
125	125	1256.0	3.2	235	190	760	755	193	190
150	150	1789.8	3.8	265	215	863	858	280	277

※接続フランジはJIS規格フランジの呼び径80となります。

フランジ規格 JIS 30K

■圧力区分

(MPa)

記号	呼び径15~25	呼び径40~100	呼び径125~150
1	0.035~0.07	2.0~2.5	0.035~0.07
2	0.07を超え0.12	2.5を超え3.0	0.07を超え0.1
3	0.12を超え0.2		0.1を超え0.35
4	0.2を超え0.3		0.35を超え0.5
5	0.3を超え0.5		0.5を超え0.7
6	0.5を超え0.8		0.7を超え0.85
7	0.8を超え1.3		0.85を超え1.0
8	1.3を超え2.0		1.0を超え1.3
9	2.0を超え3.0		1.3を超え1.6
A			1.6を超え2.0
B			2.0を超え2.5
C			2.5を超え3.0

# 資料/JIS B8210-2009 蒸気用及びガス用ばね安全弁 規格抜粋

## ■吹始め圧力

### (1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹始め圧力については規定しない。

### (2) ガス用の場合

ガス用安全弁の吹始め圧力の許容差は、設定圧力に対して±5%（ただし、最小±0.025MPa）とする。ただし、設定圧力を超えることを許されない場合の許容差は十側を一側に加えることとする。

備考 ガス用の場合、設定圧力は一般に吹始め圧力とする。

## ■吹出し圧力(ポッピング圧力)

### (1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹出し圧力の許容差は、表1による。ただし、設定圧力を超えることを許されない場合の許容差は、十側を一側に加える。

### (2) ガス用の場合

ガス用の安全弁の吹出し圧力の許容範囲は、吹始め圧力の1.1倍未満とする。ただし、吹出し圧力で設定する場合の吹出し圧力の許容差は、設定圧力の±3%（最小値±0.015MPa）とする。ただし、設定圧力を超えることを許されない場合の許容差は、十側を一側に加える。

## ■吹下り

### (1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹下りは、表2による。ただし、貫流ボイラ、再熱器、配管などに使用する蒸気用安全弁の吹出し圧力が0.3MPaを超える場合の吹下りは、設定圧力の10%以下とすることができる。

### (2) ガス用の場合

ガス用安全弁の吹下りは、表3による。

表1 蒸気用安全弁の吹出し圧力の許容差

設定圧力	許容差 (MPa)
0.5未満	±0.015
0.5以上2.3未満	±(設定圧力の3%)
2.3以上7.0未満	±0.07
7.0以上	±(設定圧力の1%)

- 備考1. 蒸気用の場合、設定圧力は一般に吹出し圧力とする。
2. ボイラ以外の蒸気安全弁の吹出し圧力の許容差は、設定圧力の±3%（最小値±0.015MPa）とする。

表2 蒸気用安全弁の吹下り

設定圧力	吹下り (MPa)
0.4以下	0.03
0.4を超えるもの	設定圧力の7% (4%) 以下

- 備考1. 蒸気用の吹下りは、一般に吹出し圧力と吹止まり圧力との差とする。
2. 受渡当事者間の協定によって、括弧内の数字とすることができる。

表3 ガス用安全弁の吹下り

設定圧力	吹下り (MPa)	
	メタルシート形	ソフトシート形
0.2以下	0.03以下	0.05以下
0.2を超えるもの	設定圧力の15%以下	設定圧力の25%以下

- 備考1. ガス用の吹下りは、一般に吹始め圧力と吹止まり圧力との差とする。ただし、吹出し圧力で設定する場合は、吹出し圧力と吹止まり圧力との差とする。
2. ソフトシート形及びメタルシート形の定義は、JIS B0100を参照。
- 注. 当社の吹下りは、JIS B8210のご指定のない限り、当社の基準によります。

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値の他、社内数値の場合もありますのでご注意ください。

※社内数値

## 1. 圧力容器構造規格

(JIS B8210-1994の式による)

### (イ) 蒸気用

$$Q_m = 5.246CK_d'A(P+0.1) \times 0.9$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式:  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

P : 公称吹出し量決定圧力 (MPa)

設定圧力×1.1または設定圧力+0.02のいずれか大きい方の値をとる。

C : 蒸気の性質による係数 (130頁表1参照)

設定圧力0.4MPa未満で、かつ飽和温度の場合: 1

設定圧力が0.4MPa以上で、かつ飽和温度の場合: 0.98

過熱蒸気の場合は130頁表1による。

K<sub>d'</sub> : 公称吹出し係数 揚程式: 0.96\*

全量式: 0.864

### (ロ) ガス用

$$Q_m = C'K_d'AP_1 \sqrt{\frac{M}{ZT}} \times 0.9$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式:  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

Z : 圧縮係数: 1\* (133頁図1参照)

T : 公称吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

C' : κ と P<sub>2</sub>/P<sub>1</sub> による係数 (133頁図3参照)

κ : 断熱指数 (C<sub>p</sub>/C<sub>v</sub>) (131頁表3参照)

不明の場合: 1

P<sub>2</sub> : 背圧 (MPa・A)

K<sub>d'</sub> : 公称吹出し係数 揚程式: 0.96\*

全量式: 0.864

M : ガスの分子量 (131頁表3参照)

P<sub>1</sub> : 公称吹出し量決定圧力 (MPa・A)

設定圧力×1.1の絶対圧力または設定圧力+0.02の絶対圧力のいずれか大きい方の値をとる。

■流入する気体の最大量の算定: 「流入する気体の最大量」は、次の算式による。

$$G = 0.0028\nu\rho d^2$$

G : 気体の送入力 (kg/h)

ρ : 気体の密度 (kg/m<sup>3</sup>)

ν : 気体の流速 (m/sec)

d : 管の内径 (mm)

(飽和蒸気にあつては20以上、過熱蒸気にあつては30以上、一般気体にあつては10以上とする。)

### (ハ) 水・温水用 (温度が120℃を超える場合も適用)

(1) 弁の所要吹出し量から求める場合

$$S = \frac{W}{87.7\sqrt{(P_1+0.1)\kappa\gamma_1}}$$

(2) 圧力容器の熱入力または温水ボイラの熱出力から求める場合

$$S = \frac{Q\varepsilon}{87.7C\sqrt{(P_1+0.1)\kappa\gamma_1}}$$

(上式は(1),(2)において(P<sub>1</sub>+0.1)κが(P<sub>1</sub>+0.1)κ>(P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>)となる場合は、(P<sub>1</sub>+0.1)κを(P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>)に置き代えて計算する。)

S : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>)

W : 弁の所要吹出し量 (kg/h)

P<sub>1</sub> : 吹出し量決定圧力 (MPa) 注

揚程式: 設定圧力×1.1

但し、SL-37~40,43,44型は、109頁参照

全量式: 設定圧力×1.15または設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

レリーフ弁(E・ED型): 設定圧力×1.25または設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

P<sub>2</sub> : 弁の出口側圧力 (MPa)

κ : 修正係数 (133頁図2参照)

Δt : 吹出し量決定圧力P<sub>1</sub>の飽和温度と弁の入口側温水温度との差 (°C)

γ<sub>1</sub> : 弁の入口側温水の密度 (kg/L) (132頁表6参照)

Q : 圧力容器の熱入力または温水ボイラの熱出力 (kJ/h)

ε : 水の体膨張係数 (1/°C) (132頁表7参照)

C : 水の定圧比熱 (kJ/kg°C) (132頁表7参照)

注. 全量式およびレリーフ弁の場合、「圧力容器または温水ボイラの最高使用圧力×1.1 (または最高使用圧力+0.034)」を超えないことを確認してください。

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値の他、社内数値の場合もありますのでご注意ください。

※社内数値

## 2. ボイラ構造規格

(JIS B8210-1994の式による)

### (イ) 蒸気用

$$Q_m = 5.246CK_d A (P+0.1) \times 0.9$$

$Q_m$  : 公称吹出し量 (kg/h)

$A$  : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式:  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

$D$  : 弁座口の径 (mm)

$\ell$  : リフト (mm)

$d$  : ノド部の径 (mm)

$P$  : 公称吹出し量決定圧力 (MPa)

設定圧力が0.1MPa以下: 設定圧力+0.02

設定圧力が0.1MPaを超える場合: 設定圧力×1.03

$C$  : 蒸気の性質による係数 (130頁表1参照)

設定圧力が0.4MPa未満で、かつ飽和温度の場合: 1

設定圧力が0.4MPa以上で、かつ飽和温度の場合: 0.98

注. 過熱蒸気および微細な流量を必要とする場合は130頁表1による。

$K_d$  : 公称吹出し係数 揚程式:  $0.96^*$

全量式: 0.864

### (ロ) 温水用 (温度が120℃以下の場合に適用する 温水が120℃を超える場合は(イ)蒸気用を用いる)

(1) 弁の所要吹出し量から求める場合

$$S = \frac{W}{87.7\sqrt{(P_1+0.1)} \kappa \gamma_1}$$

(2) 温水ボイラの熱出力から求める場合

$$S = \frac{Q\varepsilon}{87.7C\sqrt{(P_1+0.1)} \kappa \gamma_1}$$

(上式は(1),(2)において  $(P_1+0.1) \kappa$  が  $(P_1+0.1) \kappa > (P_1-P_2)$  となる場合は、 $(P_1+0.1) \kappa$  を  $(P_1-P_2)$  に置き代えて計算する。)

$S$  : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>)

$W$  : 弁の所要吹出し量 (kg/h)

$P_1$  : 吹出し量決定圧力 (MPa)

揚程式: 設定圧力×1.1

但し、SL-37~40,43,44型は、109頁参照

全量式: 設定圧力×1.15または設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

レリーフ弁(E・ED型): 設定圧力×1.25または設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

$P_2$  : 弁の出口側圧力 (MPa)

$\kappa$  : 修正係数 (133頁図2参照)

$\Delta t$  : 吹出し量決定圧力  $P_1$  の飽和温度と弁の入口側温水温度との差 (℃)

$\gamma_1$  : 弁入口側の温水の密度 (kg/L) (132頁表6参照)

$Q$  : 温水ボイラの熱出力 (kJ/h)

$\varepsilon$  : 水の体膨張係数 (1/℃) (132頁表7参照)

$C$  : 水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (132頁表7参照)

#### ■備考

温水の温度が120℃を超える温水ボイラには安全弁を備えなければならない。その算式は

$$Q_m = 5.246CK_d A (P+0.1) \times 0.9 \text{ となる。}$$

この場合の安全弁の所要吹出し量  $W$  (kg/h)

は次式によって求められる。

$$W = \frac{Q}{h_1 - h_2}$$

$W$  : 安全弁の所要吹出し量 (kg/h)

$Q$  : 温水ボイラの熱出力 (kJ/h)

$h_1$  : ボイラの最高使用圧力に相当する飽和蒸気のエンタルピ (kJ/kg)

$h_2$  : 給水のエンタルピ (kJ/kg)

$$W = \frac{Q\varepsilon}{C}$$

$\varepsilon$  : 水の体膨張係数 (1/℃) (132頁表7参照)

$C$  : 水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (132頁表7参照)

### (ハ) ダウサムボイラ用

$$Q_m = C' K_d A P_1 \sqrt{\frac{M}{ZT}} \times 0.9$$

$Q_m$  : 公称吹出し量 (kg/h)

$A$  : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式:  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

$D$  : 弁座口の径 (mm)

$\ell$  : リフト (mm)

$d$  : ノド部の径 (mm)

$Z$  : 圧縮係数: 1\* (133頁図1参照)

$T$  : 公称吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

$C'$  :  $\kappa$  と  $P_2/P_1$  による係数 (133頁図3参照)

$\kappa$  : 断熱指数 ( $C_p/C_v$ ) (131頁表3参照)

不明の場合: 1

$P_2$  : 背圧 (MPa·A)

$K_d$  : 公称吹出し係数 揚程式:  $0.96^*$

全量式: 0.864

$M$  : ガスの分子量 (131頁表3参照)

$P_1$  : 吹出し量決定圧力 (MPa·A)

設定圧力×1.1の絶対圧力または設定圧力+0.02の絶対圧力のいずれか大きい方の値をとる。

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値の他、社内数値の場合もありますのでご注意ください。

※社内数値

## 3. JIS B8210-2009蒸気用及びガス用ばね安全弁

### (イ) 蒸気用

$$Q_m = 5.25C'K_{dr}'AP$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式 :  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式 : } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

P : 公称吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa · A)

ボイラ用 : (設定圧力 × 1.03 + 0.101) または (設定圧力 + 0.015 + 0.101) のいずれか大きい方の値をとる。

圧力容器用 : (設定圧力 × 1.1 + 0.101) または (設定圧力 + 0.020 + 0.101) のいずれか大きい方の値をとる。

K<sub>dr</sub>' : 公称降格吹出し係数 揚程式 : 0.864\*

$$\text{全量式 : } 0.777$$

C' : 蒸気の性質による係数 (130頁表2参照)

公称吹出し量決定圧力の絶対圧力が 0.5MPa · A 未満で、かつ飽和温度の場合 : 1  
公称吹出し量決定圧力の絶対圧力が 0.5MPa · A 以上で、かつ飽和温度の場合 : 0.98  
過熱蒸気の場合は、130頁表2による。

### (ロ) ガス用

$$Q_m = C''K_{dr}'P_1AK_b\sqrt{\frac{M}{ZT}}$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式 :  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式 : } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

Z : 圧縮係数 : 1\* (133頁図1参照)

T : 公称吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

M : ガスの分子量 (131頁表3参照)

P<sub>2</sub> : 背圧の絶対圧力 (MPa · A)

P<sub>1</sub> : 公称吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa · A)

(設定圧力 × 1.1 + 0.101) または (設定圧力 + 0.020 + 0.101) のいずれか大きい方の値をとる。

C'' : κ と P<sub>2</sub>/P<sub>1</sub> による係数 (131頁表4参照)

$$C'' = 39.48 \sqrt{\kappa \left( \frac{2}{\kappa + 1} \right)^{\frac{\kappa + 1}{\kappa}}}$$

κ : 断熱指数 (131頁表3参照)

断熱指数 (κ) が不明の場合は κ = 1.001 として C'' = 23.96

K<sub>dr</sub>' : 公称降格吹出し係数 揚程式 : 0.864\*

$$\text{全量式 : } 0.777$$

K<sub>b</sub> : 背圧補正係数 (132頁表5参照)

$$\frac{P_2}{P_1} > \left( \frac{2}{\kappa + 1} \right)^{\frac{\kappa}{\kappa - 1}} \text{ の場合 : } K_b = \frac{55.83}{C''} \sqrt{\frac{\kappa}{\kappa - 1} \left[ \left( \frac{P_2}{P_1} \right)^{\frac{2}{\kappa}} - \left( \frac{P_2}{P_1} \right)^{\frac{\kappa + 1}{\kappa}} \right]}$$

$$\frac{P_2}{P_1} \leq \left( \frac{2}{\kappa + 1} \right)^{\frac{\kappa}{\kappa - 1}} \text{ の場合 : } K_b = 1$$

## 4. 電気事業法 (発電用火力設備に関する技術基準)

(JIS B8210-1994の式による)

### (イ) 蒸気用

$$Q_m = 5.246CK_d'A(P+0.1) \times 0.9$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式 :  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式 : } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

P : 公称吹出し量決定圧力 (MPa)

設定圧力が 0.1MPa 以下 : 設定圧力 + 0.02

設定圧力が 0.1MPa を超える場合 : 設定圧力 × 1.03

C : 蒸気の性質による係数 (130頁表1参照)

公称吹出し量決定圧力が 0.5MPa · A 未満で、かつ飽和温度の場合 : 1

公称吹出し量決定圧力が 0.5MPa · A 以上で、かつ飽和温度の場合 : 0.98

過熱蒸気の場合は、130頁表1による。

K<sub>d</sub>' : 公称吹出し係数 揚程式 : 0.96\*

$$\text{全量式 : } 0.864$$

### (ロ) ガス用

$$Q_m = C'K_d'AP_1\sqrt{\frac{M}{ZT}} \times 0.9$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式 :  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式 : } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

C' : κ と P<sub>2</sub>/P<sub>1</sub> による係数 (133頁図3参照)

κ : 断熱指数 (C<sub>p</sub>/C<sub>v</sub>) (131頁表3参照)

不明の場合 : 1

P<sub>2</sub> : 背圧 (MPa · A)

K<sub>d</sub>' : 公称吹出し係数 揚程式 : 0.96\*

$$\text{全量式 : } 0.864$$

P<sub>1</sub> : 公称吹出し量決定圧力 (MPa · A)

(設定圧力 × 1.1 の絶対圧力)

M : ガスの分子量 (131頁表3参照)

Z : 圧縮係数 : 1\* (133頁図1参照)

T : 公称吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

各計算に代入する係数は、法規中にある数値の他、社内数値の場合もありますのでご注意ください。

※社内数値

**5. 高圧ガス保安法(液化石油ガス、一般高圧ガス保安規則) (JIS B8210-1994の式による)**

**6. ガス事業法 (JIS B8210-1994の式による)**

$$Q_m = C' K_d A P_1 \sqrt{\frac{M}{Z T}} \times 0.9$$

Q<sub>m</sub> : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 揚程式:  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

ℓ : リフト (mm)

d : ノド部の径 (mm)

Z : 圧縮係数: 1\* (133頁図1参照)

T : 公称吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

C' : κ と P<sub>2</sub>/P<sub>1</sub> による係数 (133頁図3参照)

κ : 断熱指数 (C<sub>p</sub>/C<sub>v</sub>) (131頁表3参照)

不明の場合: 1

P<sub>2</sub> : 背圧 (MPa·A)

K<sub>d</sub> : 公称吹出し係数 揚程式: 0.96\*

全量式: 0.864

P<sub>1</sub> : 公称吹出し量決定圧力 (MPa·A)

(設定圧力×1.1の絶対圧力)

M : ガスの分子量 (131頁表3参照)

**7. 社内基準(水・温水を除く液体用)**

$$W = 161 \times AK \sqrt{PG}$$

W : 吹出し量 (kg/h)

A : 開口面積 (mm<sup>2</sup>)

揚程式:  $A = \pi D \ell$

$$\text{全量式: } A = 0.785 d^2$$

ℓ : リフト (mm)

D : 弁座口の径 (mm)

d : ノド部の径 (mm)

G : 比重

P : 容量決定圧力 (MPa)

K : 流量係数

揚程式: 上ガイド式 0.55

羽根足 0.45 (型式、アキュムレーションにより異なります。)

全量式: 0.60

表1. 蒸気の性質による係数C (JIS B8210-1994)

絶対圧力 (MPa)	温度 (°C)																			
	飽和温度	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	420	440	460					
0.5	1.005	0.996	0.972	0.951	0.931	0.913	0.896	0.879	0.864	0.849	0.835	0.822								
1.0	0.987	0.981	0.983	0.960	0.938	0.919	0.901	0.884	0.868	0.853	0.838	0.825								
1.5	0.977	0.976	0.970	0.972	0.947	0.925	0.906	0.888	0.872	0.856	0.841	0.828								
2.0	0.972		0.967	0.964	0.955	0.932	0.912	0.893	0.876	0.860	0.845	0.830	0.817	0.804	0.792					
2.5	0.969			0.961	0.961	0.937	0.918	0.898	0.880	0.863	0.848	0.833	0.819	0.806	0.793					
3.0	0.967			0.962	0.957	0.949	0.924	0.903	0.885	0.867	0.851	0.836	0.822	0.808	0.795					
4.0	0.965				0.958	0.954	0.934	0.915	0.894	0.875	0.857	0.841	0.826	0.813	0.799					
5.0	0.966					0.955	0.953	0.927	0.904	0.884	0.865	0.848	0.832	0.817	0.803					
6.0	0.968						0.962	0.953	0.941	0.911	0.891	0.872	0.854	0.838	0.822	0.808				
7.0	0.971							0.958	0.954	0.924	0.901	0.881	0.861	0.844	0.827	0.812				
8.0	0.975								0.967	0.956	0.937	0.912	0.888	0.868	0.850	0.833	0.817			
9.0	0.980									0.962	0.957	0.926	0.897	0.876	0.856	0.838	0.822			
10.0	0.986										0.971	0.961	0.936	0.909	0.883	0.863	0.844	0.827		
12.0	0.999											0.975	0.964	0.926	0.903	0.876	0.857	0.838		
14.0	1.016												1.002	0.980	0.956	0.920	0.893	0.868	0.846	
16.0	1.036													1.000	0.988	0.942	0.907	0.883	0.858	
18.0	1.063														1.038	1.004	0.972	0.929	0.895	0.873
20.0	1.094															1.028	1.006	0.953	0.914	0.885

備考 圧力・温度が中間値の場合は、比例法によらず、絶対圧力・温度区分の最小値とする。但し、絶対圧力0.5MPa以下の場合は絶対圧力0.5MPaによる。  
例. 公称吹出し量決定圧力(絶対圧力)=1.6MPa・A、温度245°Cの場合、C=0.947

表2. 蒸気の性質による係数C' (JIS B8210-2009)

絶対圧力 (MPa·A)	温度 (°C)																				
	飽和温度	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	420	440	460						
0.5	1.004	0.994	0.971	0.950	0.931	0.912	0.895	0.879	0.863	0.848	0.834	0.821	0.808	0.796	0.784						
1.0	0.986	0.980	0.982	0.960	0.938	0.919	0.900	0.883	0.867	0.852	0.837	0.824	0.810	0.798	0.786						
1.5	0.976	0.975	0.969	0.969	0.946	0.925	0.906	0.888	0.871	0.855	0.843	0.826	0.813	0.800	0.788						
2.0	0.971		0.966	0.963	0.955	0.932	0.912	0.893	0.875	0.859	0.844	0.829	0.815	0.802	0.790						
2.5	0.968			0.960	0.965	0.940	0.918	0.898	0.880	0.863	0.847	0.832	0.818	0.805	0.792						
3.0	0.966				0.961	0.956	0.948	0.925	0.904	0.884	0.867	0.850	0.835	0.821	0.807	0.794					
4.0	0.964					0.957	0.953	0.939	0.915	0.895	0.875	0.857	0.841	0.826	0.811	0.798					
5.0	0.965						0.955	0.952	0.929	0.905	0.884	0.865	0.847	0.831	0.816	0.802					
6.0	0.968							0.962	0.953	0.943	0.917	0.893	0.873	0.854	0.837	0.821	0.807				
7.0	0.971								0.959	0.954	0.930	0.904	0.881	0.861	0.843	0.826	0.811				
8.0	0.975									0.968	0.956	0.944	0.915	0.890	0.869	0.849	0.832	0.816			
9.0	0.980										0.963	0.960	0.927	0.900	0.877	0.856	0.837	0.820			
10.0	0.987											0.972	0.962	0.941	0.911	0.885	0.863	0.843	0.825		
12.0	1.000												0.977	0.973	0.935	0.904	0.878	0.856	0.836		
14.0	1.019													1.005	0.982	0.964	0.926	0.896	0.870	0.848	
16.0	1.039														1.005	1.001	0.952	0.916	0.886	0.861	
18.0	1.068															1.044	1.007	0.977	0.933	0.903	0.875
20.0	1.100																1.036	1.001	0.958	0.917	0.890

備考 圧力・温度が中間値の場合は、比例法によらず、絶対圧力・温度区分の最小値とする。但し、絶対圧力0.5MPa・A以下の場合は絶対圧力0.5MPa・Aによる。  
例. 公称吹出し量決定圧力(絶対圧力)=1.6MPa・A、温度245°Cの場合、C'=0.946

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

表3. ガスの性質 (JIS B8210-1994)

物性	化学式	分子量	断熱指数 Cp/Cv $\kappa$	臨界温度 $T_c$ (K)	臨界圧力 $P_c$ (MPa)	物性	化学式	分子量	断熱指数 Cp/Cv $\kappa$	臨界温度 $T_c$ (K)	臨界圧力 $P_c$ (MPa)
アセチレン	C <sub>2</sub> H <sub>2</sub>	26.04	1.26	308.7	6.25	水素	H <sub>2</sub>	2.02	1.41	33.2	1.32
空気		28.96	1.40	—	—	硫化水素	H <sub>2</sub> S	34.08	1.32	373.6	9.16
アンモニア	NH <sub>3</sub>	17.03	1.31	405.6	11.46	メタン	CH <sub>4</sub>	16.04	1.31	190.9	4.71
アルゴン	Ar	39.95	1.67	150.8	4.94	メチルアルコール	CH <sub>3</sub> OH	32.04	1.20	512.6	8.02
ベンゼン	C <sub>6</sub> H <sub>6</sub>	78.12	1.12	562.8	4.96	塩化メチル	CH <sub>3</sub> Cl	50.49	1.20	416.3	6.75
イソブタン	iso-C <sub>4</sub> H <sub>10</sub>	58.13	1.10	408.2	3.70	窒素	N <sub>2</sub>	28.01	1.40	126.3	3.44
ノルマルブタン	n-C <sub>4</sub> H <sub>10</sub>	58.13	1.09	425.5	3.75	亜酸化窒素	N <sub>2</sub> O	44.01	1.30	309.3	7.39
二硫化炭素	CS <sub>2</sub>	76.14	1.21	549.2	7.65	ノルマル・ノナン	n-C <sub>9</sub> H <sub>20</sub>	128.26	1.04	594.7	2.30
二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	44.00	1.29	304.2	7.63	酸素	O <sub>2</sub>	32.00	1.40	154.7	5.12
一酸化炭素	CO	28.01	1.40	133.0	3.62	ノルマル・ペンタン	n-C <sub>5</sub> H <sub>12</sub>	72.15	1.07	470.1	3.35
塩素	Cl <sub>2</sub>	70.91	1.36	417.2	7.83	ノルマル・プロパン	n-C <sub>3</sub> H <sub>8</sub>	44.11	1.13	370.0	4.27
シクロヘキサン	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub>	84.16	1.09	481.6	4.06	水蒸気	H <sub>2</sub> O	18.02	1.33	647.1	22.12
ノルマル・デカン	n-C <sub>10</sub> H <sub>22</sub>	142.29	1.03	618.4	2.13	二酸化硫黄	SO <sub>2</sub>	64.06	1.29	593.6	4.23
エタン	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub>	30.07	1.19	305.4	4.89	トルエン	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> CH <sub>3</sub>	92.15	1.09	593.6	4.23
エチルアルコール	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	46.07	—	516.2	4.89	プロピレン	CH <sub>2</sub> CHCH <sub>2</sub>	42.08	1.15	365.1	4.60
エチレン	C <sub>2</sub> H <sub>4</sub>	28.05	1.24	282.7	5.09	オクタン	C <sub>8</sub> H <sub>18</sub>	114.00	1.05	—	—
ヘリウム	He	4.00	1.66	5.3	0.24	クロロフルオロメタン (R22)	CHClF <sub>2</sub>	86.47	1.18	370.15	4.91
ノルマル・ヘプタン	n-C <sub>7</sub> H <sub>16</sub>	100.21	1.05	540.2	2.73						
ノルマル・ヘキサン	n-C <sub>6</sub> H <sub>14</sub>	86.18	1.06	507.7	3.03						
塩化水素	HCl	36.46	1.41	324.7	8.43						

備考 1. 空気のTc及びPcは、Tc=132.45(K)、Pc=3.769(MPa・A)とする。  
 2. 水素及びヘリウムについて、圧縮係数Zを求めるときは、Tc=8、Pc=0.8を加える。

表4. 断熱指数( $\kappa$ )による係数(C'') (JIS B8210-2009)

$\kappa$	C''	$\kappa$	C''	$\kappa$	C''	$\kappa$	C''	$\kappa$	C''	$\kappa$	C''
0.41	16.65	0.71	20.96	1.01	24.04	1.31	26.41	1.61	28.34	1.91	29.96
0.42	16.82	0.72	21.08	1.02	24.12	1.32	26.49	1.62	28.40	1.92	30.01
0.43	17.00	0.73	21.20	1.03	24.21	1.33	26.56	1.63	28.46	1.93	30.06
0.44	17.17	0.74	21.31	1.04	24.30	1.34	26.63	1.64	28.52	1.94	30.10
0.45	17.33	0.75	21.43	1.05	24.39	1.35	26.69	1.65	28.58	1.95	30.15
0.46	17.50	0.76	21.54	1.06	24.47	1.36	26.76	1.66	28.63	1.96	30.20
0.47	17.66	0.77	21.65	1.07	24.56	1.37	26.83	1.67	28.69	1.97	30.25
0.48	17.82	0.78	21.76	1.08	24.64	1.38	26.90	1.68	28.74	1.98	30.30
0.49	17.98	0.79	21.87	1.09	24.72	1.39	26.97	1.69	28.80	1.99	30.34
0.50	18.13	0.80	21.98	1.10	24.81	1.40	27.03	1.70	28.86	2.00	30.39
0.51	18.29	0.81	22.09	1.11	24.89	1.41	27.10	1.71	28.91	2.01	30.44
0.52	18.44	0.82	22.19	1.12	24.97	1.42	27.17	1.72	28.97	2.02	30.49
0.53	18.58	0.83	22.30	1.13	25.05	1.43	27.23	1.73	29.02	2.03	30.53
0.54	18.73	0.84	22.40	1.14	25.13	1.44	27.30	1.74	29.08	2.04	30.58
0.55	18.88	0.85	22.51	1.15	25.21	1.45	27.36	1.75	29.13	2.05	30.63
0.56	19.02	0.86	22.61	1.16	25.29	1.46	27.43	1.76	29.18	2.06	30.67
0.57	19.16	0.87	22.71	1.17	25.37	1.47	27.49	1.77	29.24	2.07	30.72
0.58	19.30	0.88	22.81	1.18	25.45	1.48	27.55	1.78	29.29	2.08	30.76
0.59	19.44	0.89	22.91	1.19	25.53	1.49	27.62	1.79	29.34	2.09	30.81
0.60	19.57	0.90	23.01	1.20	25.60	1.50	27.68	1.80	29.40	2.10	30.85
0.61	19.71	0.91	23.11	1.21	25.68	1.51	27.74	1.81	29.45	2.11	30.90
0.62	19.84	0.92	23.20	1.22	25.76	1.52	27.80	1.82	29.50	2.12	30.94
0.63	19.97	0.93	23.30	1.23	25.83	1.53	27.86	1.83	29.55	2.13	30.99
0.64	20.10	0.94	23.39	1.24	25.91	1.54	27.93	1.84	29.60	2.14	31.03
0.65	20.23	0.95	23.49	1.25	25.98	1.55	27.99	1.85	29.65	2.15	31.07
0.66	20.35	0.96	23.58	1.26	26.05	1.56	28.05	1.86	29.71	2.16	31.12
0.67	20.48	0.97	23.67	1.27	26.13	1.57	28.11	1.87	29.76	2.17	31.16
0.68	20.60	0.98	23.76	1.28	26.20	1.58	28.17	1.88	29.81	2.18	31.21
0.69	20.72	0.99	23.86	1.29	26.27	1.59	28.23	1.89	29.86	2.19	31.25
0.70	20.84	1.001	23.95	1.30	26.34	1.60	28.29	1.90	29.91	2.20	31.29

備考 この表の中間の値は補間法によって計算する。

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

3 安全弁、逃し弁

表5. 背圧補正係数(K<sub>b</sub>)

(JIS B8210-2009)

P <sub>b</sub> /P <sub>1</sub>	断熱指数(κ)												
	1.001	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2	2.1	2.2
0.50									1.00	1.00	0.99	0.99	0.99
0.52								1.00	0.99	0.99	0.99	0.99	0.98
0.54							1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.98	0.98
0.56					1.00	1.00	0.99	0.99	0.98	0.98	0.98	0.97	0.97
0.58				1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96
0.60			1.00	0.99	0.99	0.98	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94
0.62		1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93
0.64	1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93	0.92	0.92
0.66	0.99	0.98	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93	0.92	0.91	0.91	0.90
0.68	0.98	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94	0.93	0.92	0.91	0.90	0.90	0.89	0.88
0.70	0.97	0.96	0.95	0.94	0.93	0.92	0.91	0.90	0.89	0.89	0.88	0.87	0.86
0.72	0.96	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.88	0.87	0.87	0.86	0.85	0.84
0.74	0.95	0.93	0.92	0.91	0.89	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.84	0.83	0.82
0.76	0.93	0.91	0.90	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.83	0.82	0.81	0.80	0.80
0.78	0.91	0.89	0.87	0.86	0.85	0.83	0.82	0.81	0.80	0.79	0.78	0.78	0.77
0.80	0.88	0.86	0.85	0.83	0.82	0.81	0.79	0.78	0.77	0.76	0.76	0.75	0.74
0.82	0.85	0.83	0.82	0.80	0.79	0.77	0.76	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.71
0.84	0.82	0.80	0.78	0.77	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67
0.86	0.78	0.76	0.74	0.73	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67	0.66	0.65	0.64	0.63
0.88	0.73	0.71	0.70	0.68	0.67	0.66	0.64	0.63	0.62	0.61	0.61	0.60	0.59
0.90	0.68	0.66	0.65	0.63	0.62	0.60	0.59	0.58	0.57	0.57	0.56	0.55	0.54

備考 この表の中間の値は補間法によって計算する。

表6. 温水の密度γ<sub>1</sub> (kg/L)

圧力MPaA 温度℃	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.5
40	0.992	0.992	0.992	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993
50	0.988	0.988	0.988	0.988	0.988	0.988	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989
60	0.983	0.983	0.983	0.983	0.983	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984
70	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.979	0.979	0.979
80	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.973	0.973	0.973
90	0.965	0.965	0.965	0.965	0.965	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966
100		0.958	0.958	0.958	0.958	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959
110		0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.952	0.952	0.952
120		0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.944	0.944	0.944	0.944	0.944
130			0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.936	0.936
140			0.926	0.926	0.926	0.926	0.926	0.926	0.927	0.927	0.927	0.927	0.927
150				0.917	0.917	0.917	0.917	0.917	0.917	0.918	0.918	0.918	0.918
160					0.907	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908
170					0.897	0.897	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898
180							0.887	0.887	0.887	0.887	0.888	0.888	0.888
190								0.876	0.876	0.876	0.877	0.877	0.877
200									0.865	0.865	0.865	0.865	0.865
210											0.853	0.853	0.853
220													0.841

備考 この表の中間の値は比例法によって計算する。

注. 40℃未満：1

表7. 温水の定圧比熱Cおよび体膨張係数ε

温度℃	定圧比熱C kJ/kg℃	体膨張係数ε 1/℃
40℃未満	4.150	0.00039
40	4.179	0.00039
50	4.181	0.00046
60	4.185	0.00053
70	4.190	0.00060
80	4.197	0.00066
90	4.205	0.00072
100	4.216	0.00079
110	4.229	0.00085
120	4.245	0.00090
130	4.263	0.00097
140	4.285	0.00103
150	4.310	0.00110
160	4.339	0.00118
170	4.371	0.00126
180	4.408	0.00134
190	4.449	0.00145
200	4.497	0.00155
210	4.551	0.00165
220	4.613	0.00179

備考 この表の中間の値は比例法によって計算する。

# 資料/適用法規および吹出し容量計算式

図1. 圧縮係数Z

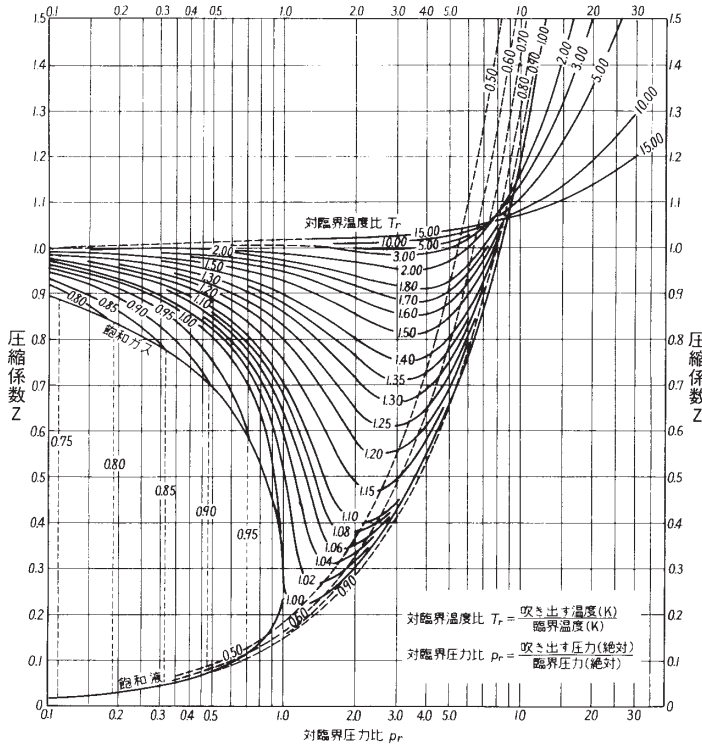


図2.  $\Delta t^{\circ}\text{C}$  に対する修正係数  $\kappa$

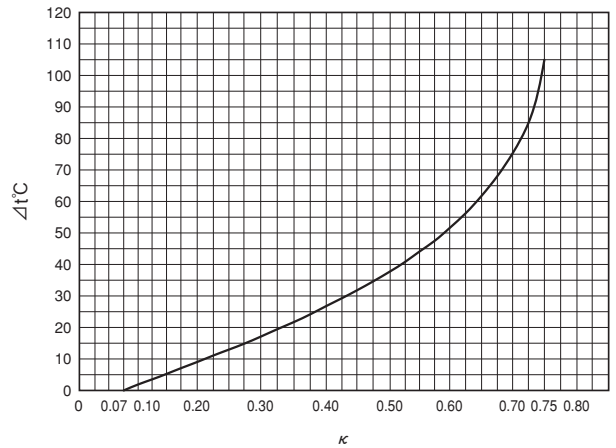
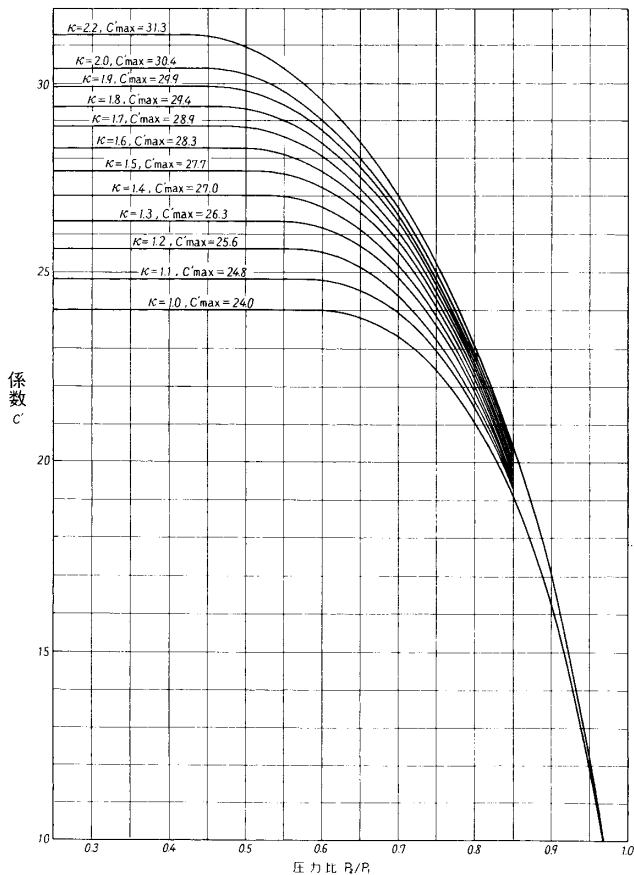


図3.  $\kappa$  と  $P_2/P_1$  による係数  $C'$



# 資料/安全弁、逃し弁設置上のポイント

**注意**
 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

## 1. 設置上の注意

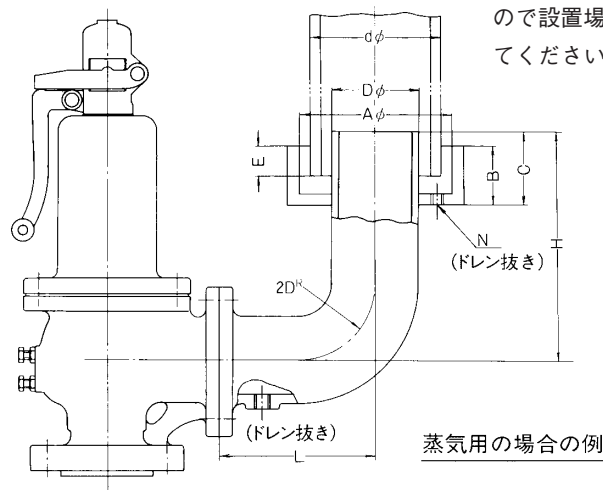
1. 安全弁は垂直に取付けてください。取付の際は、器内のスケール、塵埃等を除去し、ガスケット当り面を清掃してください。
2. 安全弁取付台の内径は、安全弁入口径以上とし、取付台の全長はできるだけ短くし、圧力損失を小さくします。
3. 安全弁取付台は、安全弁の吹出しによる反動力を受けますので、この反動力による圧縮、せん断、曲げ応力に対し十分な強度、剛性を持たせてください。
4. 吹出し管の内径は、安全弁出口径よりできるだけ大きくし、その長さをできる限り短い距離で、かつ曲りを避け、屋外または安全な場所へ導くようにし、これを適当に支えて安全弁に不当な応力(熱応力を含む)が生じないようにしてください。

この吹出し管の吹出し場所は、吹出し時の事故防止の為、次の事項も考慮してください。

- 吹出し時の爆音・爆風の影響がある場所を避ける。  
特に通行場所、立入場所を避ける。
- 流体が蒸気・水の場合、湿気や水の浸漬を嫌う電気機器、機械器具等の設置場所を避ける。
- 流体が有害ガスの場合、腐食・有毒・酸欠等の状況になる場所を避ける。

- ねじ込形の安全弁、逃し弁の出口側吹出し管には弁の分解を容易にするため、直近にユニオン継手を使用してください。(次頁図1参照)
5. 吹出し管にドレン、雨水等がたまるおそれがある場所では、それらを全部抜き得る位置に開放したドレン抜きを設け、排水溝まで導いてください。
  6. 液体用または有毒ガス用に使用する全量式安全弁で、背圧調整用のコックがついている場合は、必ず出口吹出し管に配管してください。(次頁図3参照)

7. 装置や吹出し管などの熱膨張による安全弁への不当な影響を防ぐためには、下図のように弁の出口に適当な膨張継手を設け、その先に吹出し管を取付けます。また安全弁の軸心から吹出し管の中心迄の距離は、反動力を制限するために、できるだけ小さくとり曲管の半径は $2D$ ( $D$ は曲管の内径)以上にしてください。参考までに安全弁の吹出し管の標準寸法を記します。
8. レバー付(開放型)の場合、作動時上部のキャップ部からも流体が吹出しますので設置場所にあたっては十分考慮してください。(次頁図5参照)



■吹出し管参考寸法

出口側の径	D	d	(A)	B	C	E	L	H	N
40	40	65	130	60	80	30	130	220	Rc $\frac{3}{8}$
(50)	50	80	150	60	90	40	150	230	Rc $\frac{1}{2}$
65	65	100	200	60	100	40	180	270	Rc $\frac{1}{2}$
80	80	125	200	70	120	50	200	310	Rc $\frac{1}{2}$
100	100	150	250	70	140	60	250	370	Rc $\frac{3}{4}$
125	125	200	300	80	160	70	300	430	Rc1
150	150	200	300	80	180	70	350	500	Rc1
200	200	250	380	100	220	80	450	610	Rc1

(mm)

## 2. 保守及び取扱い上の注意

1. 安全弁の取付に際しては振動、腐食等によってその機能が阻害される恐れのある場所を避け、外部から衝撃等を与えないでください。
2. 安全弁取付後テストレバーにより弁を作動させる時は、装置の圧力が弁吹出し圧力の75%以上に達した状態で作動させてください。
3. 装置の常用運転圧力は、安全弁吹止り圧力の90%を超えないようにまた、脈

- 動のある場合には、80~85%を超えないように計画時考慮してください。
4. 装置の水圧試験を行う場合は、できるだけ安全弁を外れて行ってください。安全弁を取付けて行う場合は次の事項を厳守してください。(次頁図4参照)
    - ① 不当な荷重で弁を損傷しないよう装置の圧力が弁吹出し圧力の80~90%に上昇した後に「テストガグ\*」を取付け、弁棒の先端を軽く押えてくだ

- さい。この際「テストガグ\*」は必ず手で回してください。スパナ等で回すと過大な押付力が加えられ弁座を損傷したり、弁棒が曲がったりして作動不良の原因となります。
- ② 水圧試験が終了し、装置の圧力が弁吹出し圧力の80~90%に下がったならばただちに「テストガグ\*」を外してください。
- \*テストガグは注文仕様になります。

# 資料/安全弁、逃し弁設置上のポイント

**注意** 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

■配管例図

図1. 圧力タンク取付例略図

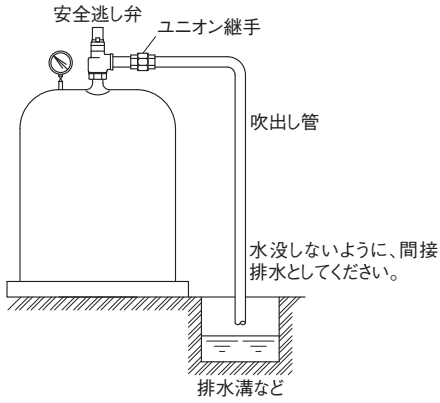


図2. 減圧弁二次側設置例略図

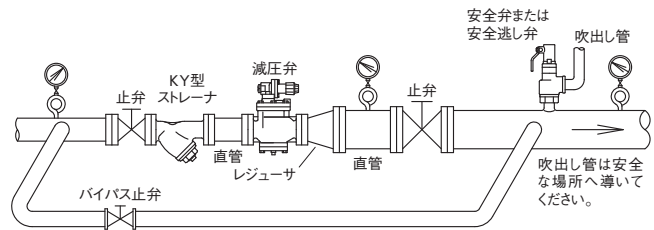


図3. 背圧調整用コック配管例略図

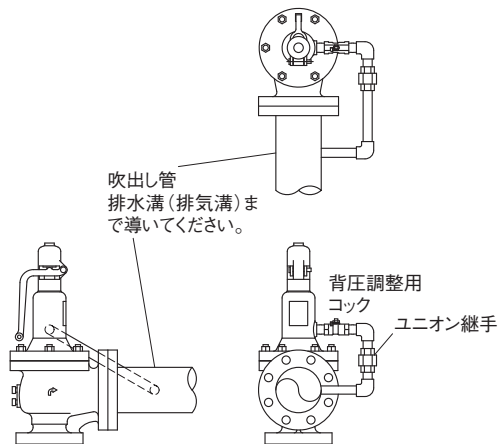


図4. テストガグ取付略図

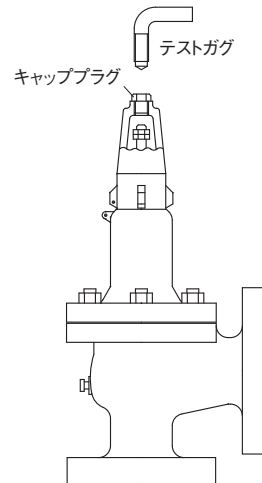
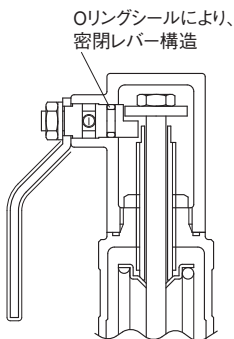


図5. レバー構造略図

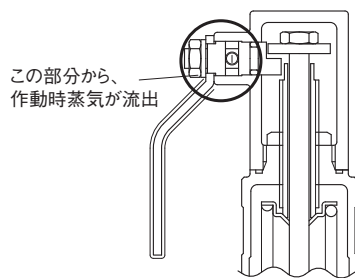
SL-37, 39, 39F, 43型レバー構造

空気・気体・液体の場合



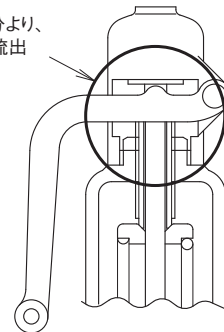
蒸気の場合

Oリングのシール性低下により、開放レバー構造としてお取扱ってください。



一般の開放レバー構造

作動時、流体が外部に流出  
この部分より、流体が流出







# 吹出し容量表 (圧力容器構造規格)

〈水・温水用〉

W = 弁の所要吹出し量 (kg/h)  $\gamma$  = 弁入口側の水・温水の密度 kg/L (水 (15°C) = 1)  
 $P_1 = (\text{設定圧力} \times 1.15)$  または (設定圧力 + 0.034) のうち大きい方

{ 左式は  $(P_1 + 0.1) \kappa$  が  $> (P_1 - P_2)$  となる場合は、  
 {  $(P_1 + 0.1) \kappa$  を  $(P_1 - P_2)$  に置き代えて計算する。 }

### ■全量式

型式	設定圧力 MPa		(10 <sup>3</sup> kg/h)																														
	呼径	S	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	
SF-20型	15	11	3.04	4.02	4.8	5.39	5.92	6.4	6.85	7.27	7.67	8.05	8.42	8.76	9.1	9.42	9.73	10	10.3	10.6	10.8	11.1	11.4	11.6	11.9	12.1	12.4	12.6	12.9	13.1	13.3	13.5	
	20	15	5.66	7.49	8.94	10	11	11.9	12.7	13.5	14.2	14.9	15.6	16.3	16.9	17.5	18.1	18.6	19.2	19.7	20.2	20.7	21.2	21.7	22.2	22.6	23.1	23.5	24	24.4	24.8	25.2	
	25	19	9.09	12.1	14.3	16.1	17.6	19.1	20.4	21.7	22.9	24	25.1	26.1	27.1	28.1	29	29.9	30.8	31.7	32.5	33.3	34.1	34.8	35.6	36.3	37.1	37.8	38.5	39.2	39.8	40.5	
	32	19	283.3	9.09	12	14.3	16.1	17.6	19.1	20.4	21.7	22.9	24	25.1	26.1	27.1	28.1	29	29.9	30.8	31.7	32.5	33.3	34.1	34.8	35.6	36.3	37.1	37.8	38.5	39.2	39.8	40.5
	40	30	490.6	15.7	20.8	24.8	27.8	30.6	33.1	35.4	37.6	39.6	41.6	43.5	45.3	47	48.7	50.3	51.8	53.4	54.8	56.3	57.7	59	60.4	61.7	63	64.2	65.4	66.7	67.8	69	70.2
SF-14型 (0.1~1MPa)	20	30	706.5	22.6	29.9	35.7	40.1	44	47.6	51	54.1	57.1	59.9	62.6	65.2	67.7	70.1	72.4	74.7	76.9	79	81.1	83.1	85	87	88.9	90.7	92.5	94.3	96	97.7	99.4	101
	34	30	907.4	29.1	38.4	45.9	51.5	56.6	61.2	65.5	69.4	73.4	77	80.5	83.8	87	90.1	93.1	95.9	98.7	101	104	106	109	111	114	116	118	121	123	125	127	129
	50	38	1133.5	36.3	48	57.4	64.4	70.7	76.5	81.8	86.9	91.7	96.2	100	104	108	112	116	119	123	126	130	133	136	139	142	145	148	151	154	156	159	162
	65	43	1451.4	46.5	61.5	73.5	82.4	90.5	97.9	104	111	117	123	128	134	139	144	148	153	158	162	166	170	174	178	182	186	190	193	197	200	204	207
	80	49	1884.7	60.5	79.9	95.4	107	117	127	136	144	152	160	167	174	180	187	193	199	205	210	216	222	227	232	237	242	246	251	256	260	265	269
SF-18型 (1~2MPa)	55	55	2374.6	76.2	100	120	134	148	160	171	182	192	201	210	219	227	235	243	251	258	265	272	279	286	292	298	305	311	317	322	328	334	339
	61	61	2920.9	93.7	123	147	166	182	197	211	224	236	248	259	269	280	289	299	308	318	326	335	343	351	359	367	375	382	389	397	404	411	417
	69	69	3737.3	119	158	189	212	233	252	270	286	302	317	331	345	358	371	383	395	406	418	429	439	450	460	470	480	489	498	508	517	526	534
	76	76	4534.1	145	192	229	257	282	306	327	347	366	385	402	418	434	450	465	479	493	507	520	533	546	558	570	582	593	605	616	627	638	648
	86	86	5805.8	186	246	294	329	362	391	419	445	469	493	515	536	556	576	595	614	632	649	666	683	699	715	730	745	760	775	789	803	817	830
SF-20型 (2~3MPa)	125	95	7084.6	227	300	358	402	442	478	511	543	573	601	628	654	679	703	726	749	771	792	813	833	853	872	891	909	928	945	963	980	997	1010
	105	105	8654.6	277	367	438	491	540	584	625	663	700	734	767	799	830	859	887	915	942	968	993	1010	1040	1060	1080	1110	1130	1150	1170	1190	1210	1230
	115	115	10381.6	333	440	525	590	647	700	750	796	840	881	921	959	995	1030	1060	1090	1130	1160	1190	1220	1250	1270	1300	1330	1350	1380	1410	1430	1460	1480

dt: ノド部の径 (mm), S: 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 注: 修正係数  $\kappa$  は 133頁図2参照 t: 吹出し量決定圧力 P<sub>1</sub> の飽和温度と弁の入口側水・温水温度との差 (°C)

W = 87.7S√(P<sub>1</sub>+0.1)κγ<sub>1</sub> ... P<sub>1</sub> = 設定圧力 × 1.1  
 P<sub>2</sub> = 弁の出口側圧力 (MPa)  
 P<sub>1</sub> > P<sub>2</sub> の場合は、  
 { (P<sub>1</sub>+0.1)κ を (P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>) に置き代えて計算する。 }

{ 左式は (P<sub>1</sub>+0.1)κ が > (P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>) となる場合は、  
 { (P<sub>1</sub>+0.1)κ を (P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>) に置き代えて計算する。 }

### ■揚程式

型式	設定圧力 MPa		(10 <sup>3</sup> kg/h)																															
	呼径	S	0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	
SF-20型	15	15	0.386	0.546	0.773	0.936	1.04	1.15	1.24	1.33	1.41	1.49	1.56	1.63	1.7	1.76	1.82	1.88	1.94	2	2.05	2.11	2.16	2.21	2.26	2.31	2.36	2.41	2.45	2.5	2.54	2.58	2.63	
	20	20	0.645	0.913	1.29	1.56	1.75	1.92	2.07	2.22	2.36	2.48	2.61	2.72	2.84	2.94	3.05	3.15	3.25	3.34	3.43	3.52	3.61	3.7	3.78	3.86	3.94	4.02	4.1	4.17	4.25	4.32	4.39	
	25	25	1.12	1.59	2.25	2.73	3.06	3.36	3.63	3.88	4.12	4.35	4.56	4.77	4.96	5.15	5.33	5.51	5.68	5.85	6.01	6.17	6.32	6.47	6.61	6.76	6.9	7.03	7.17	7.3	7.43	7.56	7.68	
	32	32	1.65	2.33	3.3	3.99	4.48	4.91	5.31	5.68	6.03	6.36	6.68	6.98	7.26	7.54	7.81	8.06	8.31	8.56	8.79	9.02	9.24	9.46	9.68	9.89	10	10.2	10.4	10.6	10.8	11	11.2	
	40	40	2.56	3.65	5.16	6.25	7	7.69	8.31	8.89	9.44	9.95	10.4	10.9	11.3	11.7	12.2	12.6	13.1	13.3	13.7	14.1	14.4	14.8	15.1	15.4	15.7	16.1	16.4	16.7	17	17.3	17.5	
SF-14型 (0.1~1MPa)	50	50	204.1	4.19	5.93	8.39	10.1	11.3	12.4	13.5	14.4	15.3	16.1	16.9	17.7	18.4	19.1	19.8	20.5	21.1	21.7	22.3	22.9	23.5	24	24.6	25.1	25.6	26.1	26.6	27.1	27.6	28.1	
	65	65	346.9	7.13	10	14.2	17.2	19.3	21.2	22.9	24.5	26	27.5	28.8	30.1	31.3	32.5	33.7	34.8	35.9	36.9	37.9	38.9	39.9	40.9	41.8	42.7	43.6	44.4	45.3	46.1	46.9	47.7	48.5
	75	75	447.4	9.2	13	18.4	22.2	24.9	27.3	29.6	31.6	33.6	35.4	37.2	38.8	40.4	42	43.5	44.9	46.3	47.6	49	50.2	51.5	52.7	53.9	55.1	56.2	57.3	58.4	59.5	60.5	61.6	62.6
	80	80	492.3	10.1	14.3	20.2	24.5	27.4	30.1	32.5	34.8	37	39	40.9	42.7	44.5	46.2	47.8	49.4	50.9	52.4	53.9	55.3	56.7	58	59.3	60.6	61.8	63.1	64.3	65.5	66.6	67.8	68.9
	100	100	785	16.1	22.8	32.2	39	43.8	48	51.9	55.6	59	62.2	65.3	68.2	71	73.7	76.3	78.8	81.3	83.6	85.9	88.2	90.4	92.5	94.6	96.6	98.6	100	102	104	106	108	109
SF-18型 (1~2MPa)	99.4	99.4	780.2	16	22.6	32	38.8	43.5	47.7	51.6	55.2	58.6	61.8	64.9	67.8	70.6	73.2	75.8	78.3	80.8	83.1	85.4	87.6	89.8	91.9	94	96	98	100	101	103	105	107	109
	125	125	1256	25.8	36.5	51.6	62.5	70	76.9	83.1	88.9	94.4	99.5	104	109	113	117	122	126	130	133	137	141	144	148	151	154	157	161	164	167	170	173	175
	130	130	1347	27.7	39.1	55.4	67	75.1	82.4	89.1	95.4	101	106	112	117	121	126	131	135	139	143	147	151	155	158	162	165	169	172	176	179	182	185	188
	150	150	1789.8	36.8	52	73.6	89.1	99.8	109	118	126	134	141	148	155	161	168	174	179	185	190	196	201	206	211	215	220	225	229	233	238	242	246	250
	160	160	2009.9	41.3	58.4	82.6	100	112	123	133	142	151	159	167	174	181	188	195	201	208	214	220	225	231	236	242	247	252	257	262	267	272	276	281

D: 弁座口の径 (mm), S: 吹出し面積 (mm<sup>2</sup>) 注: 修正係数  $\kappa$  は 133頁図2参照

t: 吹出し量決定圧力 P<sub>1</sub> の飽和温度と弁の入口側水・温水温度との差 (°C)

※安全逃し弁 (SL-37~40, 39F, 40F, 43, 44型) については、109頁をご参照ください。



# 吹出し容量表 (高圧ガス保安法)

注: 高圧ガス保安法適用の場合は、お客さまにおいて「都道府県知事が行う完成検査」を受けてください。 **<空気用>**

## 3 安全弁、逃し弁

$$Q_m = C \cdot K_d \cdot A \cdot P_1 \sqrt{\frac{M}{Z_1}} \times 0.9 \dots \dots \dots \left\{ \begin{array}{l} C=27.0, P_1=\text{設定圧力} \times 1.1 + 0.1013 \\ K_d=0.864, M=28.96, T=293, Z=1 \end{array} \right.$$

### ■全量式

型式	呼径 dt	設定圧力 MPa		(kg/h)																												
		A		0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9
SF-19, 20型	15	0.949	132	201	270	339	407	476	545	614	683	752	821	890	959	1020	1090	1160	1230	1300	1370	1440	1510	1570	1640	1710	1780	1850	1920	1990	2060	2130
	20	1.766	246	374	502	630	759	887	1010	1140	1270	1400	1520	1650	1780	1910	2040	2160	2290	2420	2550	2680	2810	2930	3060	3190	3320	3450	3580	3700	3830	3960
	25	2.833	395	600	806	1010	1210	1420	1620	1830	2040	2240	2450	2650	2860	3060	3270	3480	3680	3890	4090	4300	4500	4710	4920	5120	5330	5530	5740	5940	6150	6360
SF-15型	40	4.906	684	1040	1390	1750	2100	2460	2820	3170	3530	3890	4240	4600	4950	5310	5670	6020	6380	6730	7090	7450	7800	8160	8520	8870	9230	9580	9940	10300	10600	11000
	30	7.065	985	1490	2010	2520	3030	3550	4060	4570	5080	5600	6110	6620	7140	7650	8160	8670	9190	9700	10200	10700	11200	11700	12200	12700	13200	13800	14300	14800	15300	15800
	50	9.074	1260	1920	2580	3240	3900	4550	5210	5870	6530	7190	7850	8510	9170	9830	10400	11100	11800	12400	13100	13700	14400	15100	15700	16400	17000	17700	18300	19000	19700	20300
SF-16型 (0.1~1MPa)	38	11.335	1580	2400	3220	4040	4870	5690	6510	7340	8160	8980	9810	10600	11400	12200	13100	13900	14700	15500	16300	17200	18000	18800	19600	20500	21300	22100	22900	23800	24600	25400
	43	14.514	2020	3070	4130	5180	6230	7290	8340	9400	10400	11500	12500	13600	14600	15700	16700	17800	18800	19900	20900	22000	23100	24100	25200	26200	27300	28300	29400	30400	31500	32500
	65	18.847	2620	3990	5360	6730	8100	9470	10800	12200	13500	14900	16300	17600	19000	20400	21700	23100	24500	25800	27200	28600	29900	31300	32700	34100	35400	36800	38200	39500	40900	42300
SF-17, 18型 (1~2MPa)	55	23.746	3310	5030	6760	8480	10200	11900	13600	15300	17100	18800	20500	22200	24000	25700	27400	29100	30800	32600	34300	36000	37700	39500	41200	42900	44600	46400	48100	49800	51500	53300
	61	29.209	4070	6190	8310	10400	12500	14600	16700	18900	21000	23100	25200	27400	29500	31600	33700	35800	38000	40100	42200	44300	46400	48600	50700	52800	54900	57000	59200	61300	63400	65500
	100	37.373	5210	7920	10600	13300	16000	18700	21400	24200	26900	29600	32300	35000	37700	40400	43200	45900	48600	51300	54000	56700	59400	62100	64900	67600	70300	73000	75700	78400	81100	83900
SF-19, 20型 (2~3MPa)	76	45.341	6320	9610	12900	16100	19400	22700	26000	29300	32600	35900	39200	42500	45800	49100	52400	55700	58900	62200	65500	68800	72100	75400	78700	82000	85300	88600	91900	95200	98500	101000
	86	58.058	8090	12300	16500	20700	24900	29100	33300	37600	41800	46000	50200	54400	58600	62800	67100	71300	75500	79700	83900	88100	92400	96600	100800	105000	109000	113000	117000	121000	126000	130000
	95	70.846	9880	15000	20100	25300	30400	35600	40700	45800	51000	56100	61300	66400	71600	76700	81800	87000	92100	97300	102000	107000	112000	117000	123000	128000	133000	138000	143000	148000	153000	159000
150	105	86.546	12000	18300	24600	30900	37200	43400	49700	56000	62300	68600	74900	81100	87400	93700	100000	106000	112000	118000	125000	131000	137000	144000	150000	156000	162000	169000	175000	181000	188000	194000
	115	103.816	14400	22000	29500	37000	44600	52100	59700	67200	74700	82300	89800	97300	104000	112000	120000	127000	135000	142000	150000	157000	165000	172000	180000	187000	195000	202000	210000	217000	225000	233000

dt: ノド部の径(mm), A: 吹出し面積(mm<sup>2</sup>)

$$Q_m = C \cdot K_d \cdot A \cdot P_1 \sqrt{\frac{M}{Z_1}} \times 0.9 \dots \dots \dots \left\{ \begin{array}{l} C=27.0, P_1=\text{設定圧力} \times 1.1 + 0.1013 \\ K_d=0.96, M=28.96, T=293, Z=1 \end{array} \right.$$

### ■揚程式

型式	呼径 D	設定圧力 MPa		(kg/h)																												
		A		0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9
15	15	0.188	29.1	44.3	59.4	74.6	89.8	104	120	135	150	165	180	195	211	226	241	256	271	286	302	317	332	347	362	377	393	408	423	438	453	468
	20	0.314	48.6	73.9	99.3	124	149	175	200	225	251	276	301	327	352	377	403	428	453	479	504	529	555	580	605	631	656	681	707	732	757	783
	25	0.549	85.0	129	173	217	262	306	350	395	439	483	527	572	616	660	705	749	793	838	882	926	970	1010	1050	1100	1140	1190	1230	1280	1320	1360
40	40	1.256	194	295	397	498	599	701	802	903	1000	1100	1200	1300	1410	1510	1610	1710	1810	1910	2010	2110	2220	2320	2420	2520	2620	2720	2820	2930	3030	3130
	50	2.041	316	480	645	810	974	1130	1300	1460	1630	1790	1960	2120	2290	2450	2620	2780	2950	3110	3280	3440	3600	3770	3930	4100	4260	4430	4590	4760	4920	5090
	65	3.469	537	817	1090	1370	1650	1930	2210	2490	2770	3050	3330	3610	3890	4170	4450	4730	5010	5290	5570	5850	6130	6410	6690	6970	7250	7530	7810	8090	8370	8650
100	75	4.474	693	1050	1410	1770	2130	2490	2850	3210	3580	3940	4300	4660	5020	5380	5740	6100	6460	6820	7190	7550	7910	8270	8630	8990	9350	9710	10000	10400	10700	11100
	100	7.850	1210	1840	2480	3110	3740	4380	5010	5640	6280	6910	7540	8180	8810	9440	10000	10700	11300	11900	12600	13200	13800	14500	15100	15700	16400	17000	17600	18300	18900	19500
	125	12.560	1940	2950	3970	4980	5990	7000	8020	9030	10000	11000	12000	13000	14100	15100	16100	17100	18100	19100	20100	21100	22200	23200	24200	25200	26200	27200	28200	29300	30300	31300
150	17.898	2770	4210	5660	7100	8540	9990	11400	12800	14300	15700	17200	18600	20100	21500	22900	24400	25800	27300	28700	30200	31600	33000	34500	35900	37400	38800	40300	41700	43200	44600	

D: 弁座の径(mm), A: 吹出し面積(mm<sup>2</sup>)

# 吹出し容量表 (社内基準)

〈液体用〉

(水・温水を除く)



■全量式

$W=161AK\sqrt{PG}$  (K=0.6 G=1 アキュムレーション15% A=0.785d<sup>2</sup>)

型式	設定圧力 MPa	d	吹出し容量 (10 <sup>3</sup> kg/h)																														
			0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	
SF-20型	15	11	3.10	4.39	5.38	6.21	6.95	7.61	8.22	8.79	9.32	9.83	10.3	10.7	11.2	11.6	12.0	12.4	12.8	13.1	13.5	13.9	14.2	14.5	14.9	15.2	15.5	15.8	16.1	16.4	16.7	17.0	
	20	15	5.78	8.18	10.0	11.5	12.9	14.1	15.3	16.3	17.3	18.2	19.1	20.0	20.8	21.6	22.4	23.1	23.8	24.5	25.2	25.8	26.5	27.1	27.7	28.3	28.9	29.4	30.0	30.6	31.1	31.6	
	25	19	9.28	13.1	16.0	18.5	20.7	22.7	24.5	26.2	27.8	29.3	30.7	32.1	33.4	34.7	35.9	37.1	38.2	39.3	40.4	41.5	42.5	43.5	44.5	45.4	46.4	47.3	48.2	49.1	49.9	50.8	
SF-14型	25	19	9.28	13.1	16.0	18.5	20.7	22.7	24.5	26.2	27.8	29.3																					
	40	25	16.0	22.7	27.8	32.1	35.9	39.3	42.5	45.4	48.2	50.8	53.3	55.6	57.9	60.1	62.2	64.2	66.2	68.1	70.0	71.8	73.6	75.3	77.0	78.7	80.3	81.9	83.5	85.0	86.5	88.0	
	50	30	23.1	32.7	40.0	46.2	51.7	56.6	61.2	65.4	69.4	73.1	76.7	80.1	83.4	86.5	89.6	92.5	95.4	98.1	100	103	106	108	110	113	115	118	120	122	124	126	
SF-16型 (0.1~1MPa)	34	29.7	42.0	51.4	59.4	66.4	72.8	78.6	84.0	89.1	93.9	98.5	102	107	111	115	118	122	126	129	132	136	139	142	145	148	151	154	157	160	162		
	38	37.1	52.5	64.3	74.2	83.0	90.9	98.2	105	111	117	123	128	133	138	143	148	153	157	161	166	170	174	178	181	185	189	192	196	199	203		
	65	49	67.2	82.3	95.0	106	116	125	134	142	150	157	164	171	177	184	190	196	201	207	212	217	223	228	232	236	242	247	251	256	260		
SF-18型 (1~2MPa)	43	49	61.7	87.3	107	123	138	151	163	174	185	195	204	213	222	231	239	246	254	261	269	276	282	289	296	302	308	314	320	326	332	338	
	55	77.7	110	135	156	174	190	205	220	233	245	257	269	280	291	301	311	320	328	336	343	350	356	364	373	381	388	396	404	411	418	426	
	61	95.6	135	166	191	214	234	253	270	287	302	317	331	344	358	370	382	394	405	417	427	438	448	458	468	478	487	497	506	515	524		
SF-20型 (2~3MPa)	69	122	173	212	245	274	299	323	346	367	387	406	424	441	458	474	489	504	519	533	547	561	574	587	599	612	624	636	647	659	670		
	76	149	210	257	297	332	363	392	420	445	469	492	514	535	555	575	594	612	630	647	664	680	696	712	727	742	757	771	785	799	813		
	86	190	269	329	380	425	465	503	537	570	601	630	658	685	711	736	760	784	806	829	850	871	892	912	931	950	969	988	1000	1020	1040		
SF-20型 (2~3MPa)	95	232	328	402	464	519	568	614	656	696	733	769	803	836	868	898	928	956	984	1010	1030	1060	1080	1110	1130	1160	1180	1200	1220	1240	1270		
	105	284	401	491	567	634	694	750	801	850	896	940	982	1020	1060	1090	1130	1160	1200	1230	1260	1290	1320	1350	1380	1410	1440	1470	1500	1520	1550		
	115	340	481	589	680	760	833	899	961	1020	1070	1120	1170	1220	1270	1310	1360	1400	1440	1480	1520	1550	1590	1630	1660	1700	1730	1760	1790	1830	1860		

P : 容量決定圧力 (MPa), d : ノド部の径 (mm) 注1. 係数Kとアキュムレーションは、型式により異なります。  
注2. 実際の算式に用いるPは、(P)+アキュムレーション圧力 - (背圧)の容量決定圧力 (MPa)です。

■揚程式

$W=161AK\sqrt{PG}$  (K=0.55 G=1 アキュムレーション10% A=πDℓ)

型式	設定圧力 MPa	D	ℓ	吹出し容量 (10 <sup>3</sup> kg/h)																												
				0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9
SF-20型	15	0.552	0.780	0.956	1.10	1.23	1.35	1.46	1.56	1.65	1.74	1.83	1.91	1.99	2.06	2.13	2.20	2.27	2.34	2.40	2.46	2.53	2.58	2.64	2.70	2.76	2.81	2.86	2.92	2.97	3.02	
	20	0.922	1.30	1.59	1.84	2.06	2.25	2.43	2.60	2.76	2.91	3.05	3.19	3.32	3.45	3.57	3.68	3.80	3.91	4.01	4.12	4.22	4.32	4.42	4.51	4.61	4.70	4.79	4.87	4.96	5.05	
	25	1.61	2.28	2.79	3.22	3.60	3.94	4.26	4.56	4.83	5.09	5.34	5.58	5.81	6.03	6.24	6.44	6.64	6.84	7.02	7.21	7.38	7.56	7.73	7.89	8.06	8.22	8.37	8.53	8.68	8.83	
SF-14型	32	2.35	3.33	4.08	4.71	5.27	5.77	6.23	6.67	7.07	7.45	7.82	8.16	8.50	8.82	9.13	9.43	9.72	10.0	10.2	10.5	10.8	11.0	11.3	11.5	11.7	12.0	12.2	12.4	12.6	12.9	
	40	3.68	5.21	6.38	7.37	8.24	9.03	9.75	10.4	11.0	11.6	12.5	13.2	13.8	14.2	14.7	15.2	15.6	16.0	16.4	16.9	17.3	17.6	18.0	18.4	18.8	19.1	19.5	19.8	20.2		
	50	5.99	8.47	10.3	11.9	13.4	14.6	15.8	16.9	17.9	18.9	19.8	20.7	21.6	22.4	23.2	23.9	24.7	25.4	26.1	26.8	27.4	28.1	28.7	29.3	29.9	30.5	31.1	31.7	32.2	32.8	
SF-18型	65	10.1	14.4	17.6	20.3	22.7	24.9	26.9	28.8	30.5	32.2	33.7	35.2	36.7	38.1	39.4	40.7	42.0	43.2	44.4	45.5	46.6	47.7	48.8	49.9	50.9	51.9	52.9	53.9	54.8	55.8	
	75	13.1	18.5	22.7	26.2	29.3	32.1	34.7	37.1	39.4	41.5	43.5	45.5	47.3	49.1	50.8	52.5	54.1	55.7	57.2	58.6	60.2	61.6	63.0	64.3	65.6	66.9	68.2	69.5	70.7	71.9	
	80	14.4	20.4	25.0	28.9	32.3	35.4	38.2	40.8	43.3	45.7	47.9	50.0	52.1	54.0	55.9	57.8	59.6	61.3	63.0	64.6	66.2	67.8	69.3	70.8	72.2	73.7	75.1	76.5	77.8	79.1	
SF-16型	99.4	22.9	32.4	39.6	45.8	51.2	56.1	60.6	64.8	68.7	72.4	75.9	79.3	82.6	85.7	88.7	91.6	94.4	97.2	99.8	102	105	107	109	112	114	116	119	121	123	125	
	100	23.0	32.6	39.9	46.1	51.5	56.4	60.9	65.2	69.1	72.9	76.4	79.8	83.1	86.2	89.2	92.2	95.0	97.8	100	103	105	108	110	112	115	117	119	121	124	126	
	125	36.8	52.1	63.8	73.7	82.4	90.3	97.5	104	110	116	122	127	132	138	142	147	152	156	160	164	169	173	176	180	184	188	191	195	198	202	
SF-20型	130	39.5	55.9	68.5	79.1	88.4	96.9	104	111	118	125	131	137	142	148	153	158	163	167	172	176	181	185	189	193	197	201	205	209	213	216	
	150	52.5	74.3	91.0	105	117	128	139	148	157	166	174	182	189	196	203	210	216	223	229	235	240	246	252	257	262	268	273	278	283	287	
	160	59.0	83.4	102	118	131	144	156	166	177	186	195	204	212	220	228	236	243	250	257	263	270	276	283	289	295	300	306	312	317	323	

P : 容量決定圧力 (MPa), D : 弁座口の径 (mm), ℓ : リフト (mm) 注1. 係数Kとアキュムレーションおよびリフトは、型式により異なります。  
注2. 実際の算式に用いるPは、(P)+アキュムレーション圧力 - (背圧)の容量決定圧力 (MPa)です。  
※安全逃し弁 (SL-37~40, 39F, 40F型 (106~108頁), SL-43, 44型 (110頁)) の吹出し容量は本表の値と異なります。